



優秀賞 (総合部門)

タイトル

176歳の二世帯住宅

タイプ

持家一戸建

講評

築176年の巨大な家を父親と三人で暮らすためのリフォーム。歴史を受け継ぐ覚悟と現代住居の快適性、省エネ性、安全性の取入れとが両立。梁を露わにした吹抜と、箱階段が生き生きしている。親戚にも喜ばれているのがよい。

リフォーム前後の写真



リフォーム前A'



リフォーム後A



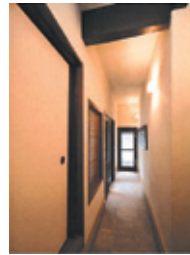
リフォーム前B'



リフォーム前C' 階段筆筒



リフォーム後B: 棟門の再生



リフォーム後C: 玄関へ続く土間。奥は採風ドア



リフォーム後D



リフォーム後E: 蘇った階段筆筒



リフォーム後F: 二世帯を結ぶ中庭



リフォーム後G: オール電化で快適省エネ

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想 など

《リフォームの動機》

- ・一人暮らしの父親との同居(二世帯住居リフォーム)
- ・前に屋根を葺き替えた際「文政13年」と刻印のある鬼瓦が見つかり改めて家の歴史を大切に継承していきたいと思った。
- ・生活しやすく、快適に(採光、家事動線、設備の改善、車庫)。

《設計・施工の工夫点》

- ・2階を子世帯にお考えだったが、既存の軸組みを活かすつ母屋を共用のLDKと施主夫妻の、離れをお父様のスペース

特に配慮した住宅性能: 省エネ/バリアフリー/構造強化

データ

所在地	岡山県井原市	構造/築後年数	在来木造/176年
該当工事面積	130 m ² /総工事床面積 238.65 m ²	該当部分工事費	1,140 万円/総工事費 3,480 万円
居住者構成	15歳以上65歳未満: 2人/65歳以上: 1人/15歳未満: 人/ペット: 犬2匹		
設計者	三井ホームリモデリング(株)	担当者	富井 保子
施工者	同上	担当者	高橋 秀夫

スとすることを提案。中庭からもデッキで結ぶ。

- ・玄関を新設し、閉鎖していた棟門を本来の姿に。玄関代わりだった土間を鉄骨梁に入れ替えて車庫にした。
- ・団樂の場となるLDIは、梁を現わした吹抜け、高窓、障子窓で構成。風と光を室内に呼び込む。
- ・水回りをまとめた回遊動線とし、和室以外はバリアフリー。
- ・ペアガラス、オール電化、温水式床暖房で快適かつ省エネ。

《施主の感想》

この家で育った叔父、叔母も喜んでくれている。

リフォーム前

リフォーム後

